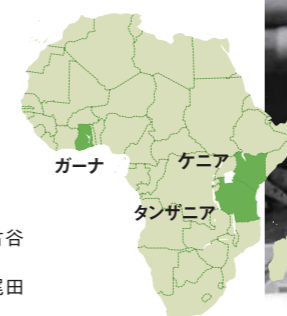


植民地支配からの独立・建国の時代



1957年、サハラ以南アフリカの中で先立って、イギリス領ゴールドコーストが「ガーナ」として独立を果たした。ヨーロッパ諸国の支配から解放された、自らの足で踏み出した大きな一歩。60年にはカメルーンを先頭とし、1年間で17カ国が次々と独立。その経済も、アジアに並ぶだけの成長を見せ、「これからは我々の時代だ」と言わんばかりに、アフリカは夢と希望に活気づいた。この独立の勢いを後押しすべく、国際社会の支援も活発化。未知なる可能性を秘めた「希望の大陸」に注目が集まるようになった。日本も敗戦から奇跡的な復活を遂げ、高度経済成長で盛り上がりを見せていた時代。その勢いを新たな国づくりを生かそうと、アフリカ支援に乗り出すことになった。



独立後、新たな国づくりへ

現地の人々と汗を流した青年海外協力隊員

1966年3月、JICAはアフリカ第一号となる青年海外協力隊員(建設機械2人、電気設備1人)を送り出すことに。協力

隊事業が始まって2年、アジアと合わせると5カ国目だった。最初の派遣国はケニア。政府は63年の独立後、道路や港湾、通信などのインフラ整備に注力する一方、海外からのボランティアを積極的に受け入れていたこ

ろだった。ケニア3代目の隊員(水産加工)の江藤誠一さんは、67年に初めてアフリカの地を踏んだ。「日本人にとって、アフリカといえば、暗黒の大陸」というイメージが強かった。想像していたの

は、山川惣治が描くところの『少年ケニヤ』。ジャングルの世界で3日かけて首都ナイロビに入った。しかしそこに広がっていたのは、夜明けの空に浮き上がる高層ビルのシルエット。「まさにここは西欧の街。人々の顔も活気に満ちていたことが印象深く思い出されます」。



(上)湖周辺で塩干魚の製造方法を巡回指導する隊員時代の江藤さん
(左)協力隊参加後も、長年にわたりJICAや国際機関の専門家として活躍する江藤さん。カンボジアの漁村開発など、その活動範囲はアジアにも広がっている

北、約1000キロのところにあるルドルフ湖(現在のトゥルカナ湖)のケニア水産局支局。湖で捕れる豊富な資源に付加価値をつけるため、水産加工技術を普及することが任務だった。首都とは異なり、ここにはまさにアフリカ、素朴な生活があった。テントで寝泊まりしながら漁村を調査したり、村人たちとともに、塩干やくん製の製造に励んだ。「加工品で現金収入を得られることが分ると、彼らの労働意欲は一気に高まりました」。

あれから40年。国際協力の世界でアフリカと付き合い続けてきた江藤さん。彼の頭に今でも残っている当時の印象は、文句一つ言わず黙々と仕事に臨む村人たち。「この姿に、私はアフリカの将来を感じました」。



(上)1970年代から水路の設置が行われ、今ではキリマンジャロのふもとに水田地帯が広がる
(下)1980年代に行われた幹線水路のブロックライニング工事の様子(写真提供:日本工営株式会社)

人々の生きる糧となる農業支援を

70年代に入り、JICAのアフリカ支援も徐々に多様化。73年にはケニア・モンバサ国際空港の拡張にアフリカ初となる円借款が供与され、インフラ整備、協力隊の派遣国拡大などが積極的に進められた。

40年以上、アフリカ支援に携わってきた日本工営株式会社専務執行役員の有賀直記さんは当時を振り返る。「もちろんインターネットなんてありませんから、日本との連絡も郵便局にあるテレックスでした。橋を建設するにも現地では調達できない資材が多く、船で取り寄せていました。何をすることも時間がかかり、不便なことが多かった。一方で、「とにかく現地の人は、国家建設に燃えていました。みんな一緒にやっていると、感覚がありましたね。本当によく働きませんでした」。

援はその一つ。地域開発の総合計画の策定を経て、円借款による灌漑整備、日本人専門家による稲作技術の移転、農業機械の供与などが、約30年かけて行われた。現地に深く根差したこの協力により、同地区のコメの収量は3倍以上に増加。日本の技術とその効果は、今の時代にまで引き継がれている。

タンザニア隊員が映画に!?

1970年代の青年海外協力隊員の姿を描いた映画があるのをご存じだろうか。アフリカ旅行中、現地の人々とともに汗を流す日本の若者たち(協力隊員)に感銘を受けた谷口千吉監督が、タンザニアを舞台に劇映画『アサンテサーナ/わが愛しのタンザニア』を製作。協同農場で活動する日本人青年と農民たちの生活が描かれている。約1年かけて現地でロケが行われ、実際に当時の隊員や現地の村人も出演。その自然な演技が好評を博した。タンザニアの雄大な自然、日本人にとっては未開の土地だったアフリカで奮闘する隊員の姿を知ることができる貴重な作品だ。全国462カ所で自主上映され、協力隊事業が認知されるきっかけにもなった。

※JICA地球ひろばの図書資料室で貸し出し中。遠方の方には郵送も可。詳しくはこちら>>><http://www.jica.go.jp/hiroba/>

※1971年にアメリカのニクソン大統領が発表した新経済政策。ドルと金の固定比率変換が停止となり、世界経済に多大な影響を及ぼした。